

子どもと地域

つながり再発見



ひょうたん作りの名人を探す子どもら（栗東市目川）

「安心協働楽校」を開設

一緒に遊び、学ぶ

栗東市ボラン
ティアアセンタ―

ティアやNPO（民間非営利団体）などと協力して、子どもたちの体験学習や遊びを支援する「地域安心協働楽校」の取り組みを始めた。

協働楽校は、塾通いやテレビゲームなど家庭内の遊びが中心の子どもらに、地域とのつながりを取り戻す場を提供するために考案された。地域の児童館や公民館を拠点に、ボランティアが子どもらに遊びや体験学習を指導する。ボランティアには現在、NPO、JA栗東など十二団体が参加している。

栗東市ボランティアセンター（安養寺三丁目）
治田児童館（目川）で

は十月上旬、協働楽校の「環として「まちの達人」探しに取り組んだ。子どもらが、地域のひょうたん作り名人を探し、ひょうたん作り方などを教

わった。また同児童館には目安箱を設け、子どもらが、地域で気づいたことを校書し、ボランティアが質問に答える活動も進めている。